

国内債券アクティブ運用のパフォーマンスとスマートベータ戦略

菊川 匡 内山 朋規 CMA
 本 廣 守 西内 翔 CMA・CIIA

目 次

- | | |
|------------------------|-------------------------|
| 1. はじめに | 4. ファクター投資（スマートベータ）への応用 |
| 2. 国内債券のファクター | 5. 結論 |
| 3. アクティブファンドのパフォーマンス分析 | |

債券ファンドは同質的で、主にクレジットファクターを超過リターン源泉としている。一方、イールドカーブの割安割高性に基づくキャリア・ロールダウン・ファクターは活用されていない。キャリア・ロールダウンはプレミアムが高く、クレジットや株式との相関が低いため、このファクターへの投資はパフォーマンスを改善させる効果がある。本研究の結果はファクターエクスポージャーのコントロールが重要であることを示している。



菊川 匡（きくがわ ただし）

野村証券MD、金融市場調査部フィクスト・インカム・クオンツ・リサーチ責任者。富士銀行、ゴールドマン・サックス証券、リーマン・ブラザーズ証券、モルガン・スタンレー証券、ABN・Amro証券等を経て現職。早稲田大学応用物理学科卒、東京理科大学総合化学博士後期課程修了。博士（理学）。



内山 朋規（うちやま ともりの）

首都大学東京大学院社会科学部研究科経営学専攻教授。三井信託銀行受託資産運用部、野村証券金融工学研究センター、UCLAアンダーソンスクール客員研究員等を経て、15年10月より現職。早稲田大学卒、青山学院大学修士、京都大学大学院経済学研究科博士後期課程修了、博士（経済学）。



本廣 守（もとひろ まもる）

野村証券金融市場調査部ヴァイス・プレジデント。01年立命館大学理工学部卒業。同年、富士総合研究所（現みずほ情報総研）入社。06年4月より野村証券。10年一橋大学大学院国際企業戦略研究科修士課程修了。



西内 翔（にしうち しょう）

野村証券フィデューシャリー・マネジメント部コンサルタント。08年慶應義塾大学大学院理工学研究科修士課程修了。同年、中央三井アセット信託銀行（現三井住友信託銀行）入社。12年5月より現職。16年一橋大学大学院国際企業戦略研究科修士課程修了、現在は博士課程在籍。